

プリンスオブソクラー大学（タイ） 短期研修 2024 募集要項

期間：2024 年 11 月 25 日（月）～12 月 2 日（月）（8 日間）

※渡航日・帰国日を除く現地での短期研修開講期間です。実際にはフライトの都合により前後 1～2 日ほど長くなります。

[プリンスオブソクラー大学（PSU）について]

1967 年に創立されたタイ南部にある国立大学です。今回訪問するプーケットキャンパス（国際学部・技術環境部他）の他、ハートヤイ（医学部・薬学部・看護学部他）、パッターニー（人文社会学部・芸術学部）、スラタニ（教養経営学部他）、トラン（経営学部・建築学部他）にキャンパスを擁する総合大学で、学生総数は 34,000 人（2007 年現在）。本学とは 2018 年に大学間交流協定、2019 年に拠点合意を締結しています。

[短期研修の概要]

- 研修はすべて**英語**で行われます。
- 滞在先は大学付近にある PSU が提携するホテルになります。
- 研修期間には PSU の学生も参加します。
- 本研修は後期博士課程の学生を対象とした「次世代研究者挑戦的研究プログラム」における海外研修として名古屋市立大学とプリンスオブソクラー大学とで企画されたものです。今回は第 1 回目の催行となります。
- 本研修は PSU プーケットキャンパスで実施されます。

[短期研修の目的]

現地学生との交流や異文化体験など、異文化環境下で SDGs 関連の議論や活動を実体験し、自らの専門知識と異分野の知見を活用して SDGs について多角的に考え、諸課題の対応策を提案する機会を提供する。また、異空間での思考力及び英語によるプレゼンテーション能力、交渉力、合意形成力、行動力の 4 つのスキルセットの向上を図る。

[プログラム予定] ※変更になる場合があります

- 「タイの医療技術」「地域に根差した観光業の展開」「生体材料の医療への応用」「タイの伝統医療」に関する講義・見学・フィールドワーク
- PSU 大学院生との交流活動
- 課題解決のワークショップと発表

[参加費用]

①研修費（PSU に支払う料金）：71,000 バーツ（約 294,000 円）

※参考：1 バーツ=4.19 円（2024 年 8 月時点レート）

- * 料金に含まれるもの：宿泊費（朝食付）、昼食代、見学先などへの現地移動費、特別授業の授業料、設備使用料、プログラムに係る諸経費
- * 上記以外の食費・お土産代等は個人負担

②渡航費：140,000 円（概算）

③諸雑費（海外旅行保険等）：26,000円（概算）

※保険については学研災付帯の海外旅行保険に加入していただいています。

参加費用の合計：①+②+③=460,000円（概算）

[応募要件]

参加対象：大学院生

参加条件：①（現地の授業・滞在に困らない様）ある程度の英語力を有した学生。TOEIC L&R 500相当以上を目安とする。

②11月25日（月）から研修に参加できる学生

募集人数：10名程度（最小催行人数5名）

応募締切：2024年9月17日（火）17:00まで

応募方法：所定の応募用紙を記入の上、応募締切までに国際交流センター（滝子キャンパス3号館1階、住所は下記の通り）へ提出（持参または郵送・学内便送付）。

※応募用紙は大学ホームページ、または学務情報システムよりダウンロードできます。

（大学HP:トップページ:国際交流・留学→在学生の方へ→留学の種類→現在募集中のプログラム）

※応募者が最少催行人数に満たない場合は中止となります。

[応募後出発までのスケジュール]

決定した派遣者人数・名前等をPSUへ連絡します。その後PSUと連絡を取りながら随時その後の手続きや事前講義・ガイダンスなどについてお知らせしていきます。

<2024年事前ガイダンススケジュール（予定）>

第1回 9月下旬：参加者顔合わせ、航空券、保険について

第2回 11月上旬：事前学習講義、最終確認、危機管理について

※帰国後には、国際交流センター主催の「留学フェア」への参加や、国際交流センター広報誌等への体験談の寄稿を依頼いたしますのでご協力をお願いいたします。

※応募者が最少催行人数に満たない場合には中止または延期となります。

[問い合わせ先]

国際課・国際交流センター（滝子キャンパス3号館1階）

〒477-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1

TEL: (052)872-5163

E-mail: ryugaku@sec.nagoya-cu.ac.jp